

NEWS RELEASE

各位

取材依頼

令和元年9月27日

ニッポンハム食の未来財団
平成30年度研究助成事業成果報告会を開催

開催日：10月10日(木) 場所：AP品川アネックス1階A+Bルーム・Dルーム

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団(事務所：茨城県つくば市、理事長：山田良司)は10月10日(木)、平成30年度に実施した研究助成事業の成果報告会を開催いたします。

本研究助成は、対象領域を「食物アレルギー」に特化しているのが最大の特徴で、根本的な治療や予防法などが確立されていない現状を打開することを目指しています。助成区分として「共同研究助成」と「個人研究助成」の二区を設けています。「共同研究助成」は、異分野(例：医学と食品)研究者の協働による「食物アレルギー」の問題解決を、「個人研究助成」は、「食物アレルギー」の問題解決にチャレンジする若手研究者の育成を狙いとしています。この度の報告会では初の試みとして、若手研究者の学術交流の場となることを願い、個人研究助成採択者によるポスター発表会(全14課題)を開催いたします。

今回の報告対象である平成30年度事業は、両区合わせて63件の応募があり、21件を選出し総額6,304万円の助成を実施しています。

開催概要 (詳細は次ページ以降のプログラム参照)

■日時

令和元年10月10日(木)

〈第一部〉ポスター発表会 13時45分～14時45分(13時15分受付開始)

〈第二部〉口頭成果発表会 15時00分～17時45分

〈第三部〉学術交流会 18時00分～19時30分

■会場

AP品川アネックス1階 A+B ルーム等(JR品川駅 高輪口 徒歩3分、詳細は4ページ参照)

■報告内容

平成30年度研究助成事業採択者による

ポスター発表(個人研究助成；14課題)及び口頭報告(共同研究助成；7課題)

■出席予定者

発表者(平成30年度研究助成事業の採択者；21名)、本年度の研究助成事業採択者、

当財団関係者(評議員、理事、監事等)、研究助成審査委員、報道関係者等

◆公益財団法人ニッポンハム食の未来財団◆

食物アレルギー対策を加速させ、全ての方に「食べる喜び」を感じて欲しいという強い思いから、平成27年1月に日本ハム株式会社により設立されました。平成29年4月に、公益法人としての認定を受けて活動しています。研究助成事業の他、「食物アレルギー対応食 料理コンテスト」、「栄養士向けセミナー」、「Webを通じた情報発信」を行っています。

大変恐縮ですが、当日取材くださる方は、10月4日(金)までに
4ページ目のFAX 返信用紙にてお申込みください。

※リリースに関する問い合わせ先

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 小泉・沖浦まで

TEL 029-893-4466 FAX 029-893-4360

info@miraizaidan.or.jp

場 所：AP品川アネックス 1階 Dルーム

発表者：平成30年度研究助成事業 個人研究採択者

時 間：13時45分～14時45分(発表者がポスター前で研究内容を発表、質疑応答する時間)

ポスター番号	氏名	所属機関	課題名
01	伊藤靖典	富山大学医学部小児科 助教	食物アレルギー児の食事指導における葛根湯併用の 耐性誘導獲得効果の検討
02	上番増 喬	徳島大学大学院医歯薬学 研究部 予防環境栄養学分野 特任助教	母親の腸内環境が胎児の出生後の食物アレルギー発症 に及ぼす影響の解析
03	岡田祐樹	昭和大学医学部小児科学講座 助教	新入大学生を対象とした成人食物アレルギー調査研究
04	倉島洋介	東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究 センター 特任准教授	経口免疫療法によるエフェクター細胞の形質変化の 誘導機序の解析
05	黒谷玲子	山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学部 准教授	新規生理活性物質 SCGB3A2 の食物アレルギー改善薬 としての検証
06	小林征洋	国立大学法人東京海洋大学 助教	魚類アレルギー（パルブアルブミン）のデータベース 構築に向けた基礎的研究：多魚種にわたる魚類アレル ゲン含有量および免疫化学的性状の解明
07	佐藤 陽	医療創生大学 薬学部 衛生薬学部門 准教授	新規アナフィラキシー治療薬の開発 ービオチニル化ペプチドの有効性評価ー
08	杉浦至郎	あいち小児保健医療総合 センター アレルギー科 医長	急速経口免疫療法後に残存する運動誘発症状の機序に 関する検討 ー生体内における好塩基球活性化の可能性ー
09	高木秀明	宮崎大学医学部医学科 感染症学講座 免疫学分野 助教	食物アレルギーに対する舌下免疫療法の有効性の検証 と作用機序の解明
10	谷田 守	金沢医科大学 医学部 生理学Ⅱ講座 准教授	アナフィラキシー低血圧時の交感神経興奮を惹起する 脳内機構の全容解明
11	中島陽一	藤田医科大学医学部 小児科 講師	低アレルゲン化食品を用いた魚アレルギーに対する 新規治療法の開発
12	八木久子	群馬大学大学院医学系研究科 医科学専攻 小児科学分野 医員大学院生	新生児・乳児消化管アレルギーの診断にむけた革新的 検査法の開発
13	吉岡靖雄	大阪大学 微生物病研究所 ワクチン創成プロジェクト 特任准教授	独自の機能性ペプチドを用いた食物アレルギーに 対する根治療法の開発
14	吉川 宗一郎	岡山大学 医歯薬学総合研究科 細胞生理学分野 助教	新規脱顆粒インディケーターを用いたアレルゲン検出 システムの構築とその応用

【成果報告会 要旨集】

<https://www.miraizaidan.or.jp/information/2019.html#info20190927>

※9月27日（金）10時より公開いたします



場 所：AP品川アネックス 1階 A+B ルーム

発表者：平成30年度研究助成事業 共同研究採択者

時 間：15時00分～17時45分

- 15 : 00 挨拶 山田良司
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 理事長
- 15 : 05～15 : 25 (座長 穂山 浩：国立医薬品食品衛生研究所 食品部 部長)
「抑制型受容体に着目した食物アレルギーの予防・治療法開発」
北浦次郎
順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター 前任准教授
- 15 : 25～15 : 45 (座長 伊藤浩明：あいち小児保健医療総合センター 副センター長)
「経皮感作による甲殻類アレルギーモデル動物の作成とプレバイオティクス投与による予防効果の解析」
常山幸一
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 疾患病理学分野 教授
- 15 : 45～16 : 05 (座長 新井克彦：東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設 教授)
「食物アレルギーにおける免疫系転写因子 NFATc2 の役割の解明」
林田直樹
山口大学大学院 医学系研究科 医化学分野 講師
- 16 : 05～16 : 25 (座長 立花宏文：九州大学大学院農学研究院 主幹教授)
「魚アレルギー免疫療法を見据えた複合的低アレルギー化コンポーネントの開発」
松永 佳世子
藤田医科大学 教授
- 16 : 25～16 : 40 (休憩15分)
- 16 : 40～17 : 00 (座長 楠 隆：滋賀県立小児保健医療センター 小児科主任部長)
「ヒスタミン遊離因子の阻害による食物アレルギー治療薬の開発」
松本健治
国立成育医療研究センター研究所 感染研究部 部長
- 17 : 00～17 : 20 (座長 倉園久生：徳島大学 研究支援・産学官連携センター副センター長)
「食物アレルギー診断マーカーの応用と診断キットの開発」
村田幸久
東京大学大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 准教授
- 17 : 20～17 : 40 (座長 森山達哉：近畿大学農学部 教授)
「 ω -5グリアジン欠損食用小麦の開発： ω -5グリアジン感作型小麦アレルギーの根絶に向けて」
森田栄伸
島根大学医学部皮膚科学講座 教授
- 17 : 40～17 : 45 閉会挨拶 一色賢司
一般財団法人日本食品分析センター 学術顧問
北海道大学名誉教授
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 理事・研究助成審査委員長
- 17 : 45 写真撮影

《第三部 学術交流会》

18 : 00～19 : 30

FAX 029-893-4360

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 行き
(問い合わせ先 TEL:029-893-4466)

平成30年度研究助成事業 成果報告会

日時:令和元年10月10日(木)(13:15~;1階 A+Bルーム前 受付までお越しください。)

場所:AP品川アネックス(下図参照)

《第一部》ポスター発表会 13:45~ 1階 Dルーム	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席
《第二部》口頭成果報告会 15:00~ 1階 A+Bルーム	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席
《第三部》学術交流会 18:00~ 地下1階 Pルーム	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席

貴社名	
貴部署名	
お名前	
電話番号	
FAX番号	
E-mail	
備考(撮影の有無)	

会場案内図



【所在地・電話番号】

〒108-0074

東京都港区高輪3丁目23-17

品川センタービルディング1階・地下1階

Tel:03-5798-3109

Fax:03-5475-8109

※「高輪口」から右手方向に約3分です

【交通アクセス】

東海道新幹線・JR東海道線・JR山手線・
JR京浜東北線・JR横須賀線・京浜急行線
をご利用の場合

「品川駅」より徒歩3分

※羽田空港からは京浜急行快特で
品川駅まで16分